



今月のテーマ

徘徊感知機器「家族コール4シリーズ」紹介と選定方法について

前号では、認知症高齢者の“徘徊”と福祉用具レンタル市場の現状をご紹介しました。今号では、テクノスジャパンの徘徊感知機器「家族コール4」をご紹介いたします。

認知症徘徊感知機器の選定ポイント

利用環境・利用対象者の状態・家族・現場のニーズに合わせて機種・設置場所・機能を総合的に評価し選定するのが最適です。見守りが必要な場所・タイミングを明確にし選定してください。

POINT

- 操作・設置の簡便さ
- サポート・レンタルサービスの充実度
- 通知方法や範囲の設定
- 通信機能の有無
- 機器の耐久性・防水性
- 利用対象者の状態



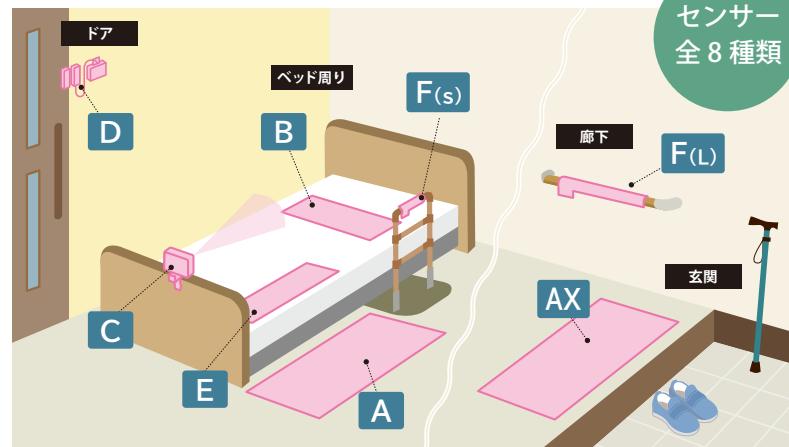
幅広いセンサーラインアップ

「家族コール4」はセンサー8機種、受信器2機種より、さまざまな介護シーンに合わせた製品をお選びいただけます。

センサーは種類ごとにA～Fのアルファベットでタイプが分かれています。

選定時センサー対応一覧を参考にしてください。

詳細は「在宅カタログ」をご覧ください。



センサー対応一覧

設置場所	検知する対象者の動作	家族コール4 センサーラインアップ							
		A	B	C	D	E	F(s)	F(L)	AX
コードレスセンサー									
ベッド	起き上がり		●	●					
	立ち上がり	●		●					●
	端座位になった時					●			
廊下	通過した時	●		●				△	●
手すり	手すりを握った時						△	●	
	簡易手すりを握った時						●		
玄関ホール	マットを踏んだ時	●							●
ドア	ドアを開けた時				●				

受信器は2種類

	携帯タイプ	据置タイプ
外観・名称	 ポータブル受信器 2K	 メロディスティック
利用シーン	少ないスタッフで夜間対応時に携帯し、複数のセンサーを受信を携帯受信器で確認する。	日中、不特定のスタッフが共用スペース等でセンサーの受信を、据置の受信器で確認する
特長	<ul style="list-style-type: none">・大音量設定可・登録数はセンサー最大100台・充電タイプ	<ul style="list-style-type: none">・操作が簡単・大きいランプで視認性◎・ACアダプタ
共通		<ul style="list-style-type: none">・通達距離：約100m（見通し）・ペアリング方式で混信しません。・リピーターで通達距離を延長できます。

介護施設・家庭での運用事例

家族コール4A・ポータブル



課題

利用者の外出に家族が気付かず、一時行方不明になった。

徘徊のリスクが高いので、家族コール4A・ポータブルを使用した。

改善された点

玄関に敷いたセンサーを踏むと即時に受信器にお知らせ、玄関での声かけで徘徊を防止。センサーは敷くだけのマットタイプ、かんたんで、家族の心理的負担が大幅に軽減した。

家族コール4F・メロディ(S)



課題

認知症の利用者、歩行不安定で転倒の心配もあり、屋内は手すり使い移動するので、手すり専用の家族コールF・メロディ(S)を使用した。

改善された点

対象者が廊下を移動する際、手すり（センサー部分）を握ると受信器でお知らせ外出する際の声かけができた上、動線上、トイレの行動も知ることができた。